

代議制民主主義を機能させるために不可欠な組織である政党について論じた。第2回～第12回までの毎回の授業後、内容理解を確認するため、授業内容を要約するレポートを課した。また、第13回に相当する授業では、授業全体の内容理解を促すためのミニテストを行った。評価配分は、レポート50%、ミニテスト50%である。なお、解説はレジュメを参照すること。

◇レポート課題（全11回から一部を抜粋）

第2回 政党とはなにかⅠ

第4回 政党システム論Ⅰ

第6回 政党組織論Ⅰ

第8回 ロベルト・ミヘルス

第10回 オットー・キルヒハイマー

◇ミニテスト（全20問から一部を抜粋）

括弧内に適切な語句を記入しなさい。選択肢が示されている場合は、それを選んで記入しなさい。

- 政党の機能は「利益の集約」「リーダーの補充と選出」「決定作成マシンの組織化」「政治的社会化」の4つにまとめられる。「セクショナリズムの克服と国益の促進」は4つの機能の中の「()」にあたる。
- マディソンは政党を擁護して、権力を分割することなく政党に委ねることを主張した。「正」「誤」のいずれかを選んで解答欄に記入しなさい。
- サルトーリによると、政党数が3から5程度であり、政党間競争が求心的となる政党制とは()である。
- 大衆民主主義の到来により、大衆の支持を組織化して政治的な資源とするべく、政党が形成されるようになった。この理解は正しいか。「正」「誤」のいずれかを選んで解答欄に記入しなさい。
- コックスとマカビンズは、()問題の観点から、アメリカ議会における政党の影響力を理論的、実証的に明らかにした。

以上